

# 小学2年生「自分にかつ」方法

先日、大阪でジムナスティック（マット連続技）の大会がありました。

藤澤真絆（まさき）さん（小学2年生）は優勝候補の一人でしたが演技を失敗し、惨敗、泣き崩れました。

その後、次のクラブでこんな手紙をくれました。

『2019年11月23日

今日ジムナスティックがあった。

しっばいせずにえんぎをやろうと思った。

めっちゃきんちょうした。

こうてんとうりつがしっばいしてしまった。

くやしかった。

やりなおしができたのに、しっばいしたことしか考えてなくて

やりなおすことができなかった。

おわってからいっばいしないた。

今までいっばいれんしゅうしてきたことが

本ばんでだせなくてくやしかった。

自分にまけた。

つぎのジムナスティックでは、自分にかつ。

しっばいをしてしまっても、おちついてやりなおしをする。

毎日自分かられんしゅうをする。

みじかい時間でもいいからいっしょうけんめいしゅうちゅうしてやる。

100パーセントできるようになるまでれんしゅうする。

今日のくやしい気もちをわすれないようにする。

自分にかつ！』

小学校2年生の子がこんな思いで手紙を書いてくれました。

我々大人はどんな思いで毎日を過ごしているのでしょうか。